

Mランドニュース Vol. 80

丹波ささ山校 平成25年11月1日発行

発行 (株)篠山自動車教習所 〒669-2436 兵庫県篠山市池上569
TEL. 079-552-0815 FAX. 079-552-3940 発行責任者 井本 徹
<http://www.sasayama-ds.com/> E-mail info@sasayama-ds.com

《今月の言葉》

この国をよくするのは、財務大臣でもなければ、総理大臣でもありません。国民一人ひとりの、ほんのちょっとした生き方にかかっています。

鍵山 秀三郎氏

Mランドフェスタ2013

11月10日(日)

場所: Mランド丹波ささ山校 (篠山自動車教習所)

1000人で大そうじ

時間: 8時30分集合
9:00~11:00

基調講演

時間: 11:30~12:00

西脇工業高等学校 陸上競技部
顧問 足立 幸永 氏

イベント♪

時間: 12:00~15:00

大人気「丹波ーガー」
ご当地ヒーロー「ササグロー」
などなどイベント盛りだくさん。

※都合により内容を変更する場合がございます。

沖縄フェンスクリーン

十月九日、日本を美しくする会相談役、鍵山秀三郎氏の呼びかけで、「普天間基地周辺掃除の会」が開催されました。

前夜の交流会では、全国各地から集まった八十六名の参加者へ、鍵山相談役からのあいさつに続き、フェンスクリーンプロジェクト(以下FCP)の代表である、手登根安則氏より、今回に至る活動経緯を説明していただきました。

私たちはテレビや新聞でないと沖縄の様子を知ることができません。沖縄といえば、きれいな海とグルメ、また太平洋戦争の激戦地であったこと、米軍基地とオスプレイの問題ではないでしょうか。その中でも現在高まる普天間基地への抗議行動により、基地周辺が酷く汚され、また、親日であるアメリカ兵やその家族に対し、暴言を叫ぶなどの行為が日常的に行なわれている現実があります。自分の街が目の前で汚されていくのを、黙ってみていられるでしょうか。きれ

当日、日の出前の五時半に出発し、基地へと向かいました。目に入ってきたものは、延々と続くフェンスに巻きつけられた、おびただしい数のビニール紐と、カラーテープでした。

早朝、みんなで力を合わせて!



閉会式(鍵山氏のおはなし)

れいにする」という強い意志が一つになり、黙々と掃除をされていました。

いな自分たちの街を次代に残すことや、日米親善がより深まるように、活動を続けてこられたFCPの取り組みに対し、「日本を美しくする会」が沖縄と共に良くしようと開催されたものでした。

明るくなると、一人、またひとりと反対活動家があらわれ、出勤する米兵に叫び声を上げ、まさに私たちが掃除をしたフェンスにのぼりや横断幕を取り付けるのです。聞くところによると私たちが帰ったあと、反対活動家がフェンスにビニール紐とカラーテープを、同じように巻いていたとのことです。FCPは毎週日曜日、この活動を続けておられるのです。

約一時間の作業で、このとおり



小野南中学校掃除に学ぶ会

すが、それを思はせないほど
きれいに保たれています。

今回のテーマは“使った道

篠山から南西、車で約一
時間の小野市に小野南中学
校があります。三年前、ひ

とりの先生の「トイレ掃除を
学生にも体験してほしい」と
いう強い想いが姫路掃除に
学ぶ会、福永道子先生に伝
わり、卒業を目の前にした
三年生に、「愛校作業」とい
うかたちで行なわれ、今回

で四回目となりました。

付けがしっかりと出来ていれば、
次回の作業がスムーズに行な
えるということです。まずは
リーダーから道具の使い方と
諸注意を聞き、掃除の開始

です。



播磨掃除に学ぶ会・木南様の挨拶



上から見る便器も下から見れば



真剣に聞き入る生徒さん

最初は汚れに腰が引け、
手もおそるおそる。しかし、
やがて「えいっ！」とスイッチが
入ると、ガッカリ便器をつか
み、顔を近づけ、真剣な眼差
しで磨きはじめます。

休み時間になるとその様
子を、興味深げに見ながら
一・二年生がトイレの前を歩
いていき、「いつかは自分たち
も」と、次へと繋がっていくの
でしょう。掃除の最後に、次
の準備へとつながる後片付け
も丁寧に行ないます。



使った道具は丁寧に



普段見ない流しの裏も



小さい汚れも見逃さず

当時は、「トイレ掃除」に
対する抵抗感がどの生徒に
もあったようですが、終了後
には期待をはるかに超えた
学びがあり、結果は生徒に
とっても教師にとても、心に
残る貴重な時間となりまし
た。これが四回目と続くは
じまりでした。以後、年数
が経っている校舎ではありま

破れても気にならなかつた」
など、一人ひとりの感性も
磨かれたように、表情はキ
ラキラしていました。

など、一人ひとりの感性も
磨かれたように、表情はキ
ラキラしていました。



みんなの前での感想発表

篠山と共に③

十七日夜、城東ライオン

ズクラブの皆さんと、トイレ
掃除に学ぶ会を実施させて
いただきました。

「またトイレ掃除をしたい

のですが、Mランドさんお願
いできますか」と、いつもこん
なおはなしがいただけのこと
にとても嬉しさを感じます。

一般的に「トイレ掃除」とい
うと、なかなか受け入れて
もらえるものではありません
。そんな中、身をもってご
理解ください、三回目の開

立場は違いますが、地域
をもつとよくしたいと思う気
持ちは同じです。鍵山秀三
郎氏は「一人の百歩より百
人の一步」といわれます。こ
の掃除のご縁が広がることを
願い、社会に貢献できる企
業として更に取り組んでま
ります。

二十四・二十五日の両日、
益田校五十周年記念式典
に出席させていただきまし
た。

冒頭、小河二郎オーナー

より、これまでの『燐』の「ここ
ろの取り組みと自己と自然
は一体であることを忘れず、
仕事を生きがいにできる会
社が理想であることを話さ
れました。

また、記念講演では、多
摩大学大学院教授の望月照
彦氏より、「Mランドは想像
の場、叡智の場、体験の場、
世界の人々の出会う場とし
て、そして、これから企業
のモデルとして注目されてい
る」などのおはなしがありました。



積極的に掃除をしていただきました

『掃除に学ぶ会』のご案内

私たちと一緒にトイレを掃除しましょう。

11/24(日) 篠山中学校 屋外トイレ
(AM 8:00 ~ 9:00)

※参加していただける方は井本までご連絡ください。

編集後記

八年前、単に運転だけを
教えていた教習所から、『地
域と地球のドライバーを育て
る教習所』として生まれ変
わったことを、あらためて思
い起こしました。益田校と同
じく、地域に役立ち、この國
を少しでもいい国にしていく、
百年続く企業としてがんば
ります！

(徹)